

ヘルスケア 第2回レポート

医療保障制度（オランダ）

出典

International Profiles of Health Care Systems 2020

医療保険制度の概要

- ・人口の約**63%**が公的健康保険に加入していた。裕福な人々は、民間保険を選択したり無保険のままにすることが可能。
- ・**2006年**に健康保険法は、従来の民間保険市場を、民間保険と強制保険によって支えられた**1つ**の社会健康保険プログラムに統合された。

<政府の役割>

- ・国は、医療の優先順位を設定するための全体的な責任があり、必要に応じて法改正を導入する。そして、国の市場ベースのシステムにおけるアクセス、品質、およびコストを監視している。
- ・市町村は、予防検診や外来患者の長期サービスなど医療サービスを監督する責任がある。
- ・連邦保健省の役割は、医療を直接管理するのではなく、遠くから保護することである。

公的医療保険と民間医療保険

公的医療保険の役割

- ・ 総医療費はGDPの10.5% (2016年)
- ・ 支出の81%は雇用主が支払う特定の給与税と一般課税によって賄われる
- ・ 財源構成は、税が68%(うち給与税46%、一般課税22%) 社会保険料が21%、患者負担が11%
- ・ 18歳未満の子供のための政府補助金は、資金の5%を提供
- ・ 所得税と政府補助金は健康保険基金に一度集められ、保険会社間で再分配される

公的医療保険と民間医療保険

民間医療保険の役割

- ・ 国民の84%が公的医療保険をカバーする役割を持ったなんらかの民間医療保険に加入している
- ・ 民間医療保険の保険料は規制されていない
- ・ 総医療費の7% (2016年)
 - どのようなタイプのケアにも迅速にアクセスできず、病院や専門家の選択肢も増えていない

公的医療保険の給付

- 公的医療保険の給付内容は、保険会社によって異なるが、基礎的保険は、国が決定し、保険会社が提供する。
 - 一般開業医（GP）によるケア、スペシャルケア、病院でのケア、母体のケア、18歳までの歯科治療、処方薬、18歳までの理学療法、在宅介護、禁煙や体重管理のアドバイスなどの健康増進プログラム、メンタルヘルスケアが給付対象。
 - 医学的適応のない美容整形手術・視力治療、18歳以降の歯科治療・理学療法、眼鏡およびレンズなどは給付対象外。
 - 補聴器や整形外科用の靴など、さまざまな医療機器は給付対象だが、車椅子やその他の歩行補助器具は給付対象外。
 - 予防と社会的支援は、法定健康保険の対象外であるが、税金によりカバーされる。
 - 長期ケアは、法定健康保険とは別に資金提供される。

医療費の患者負担

- 成人は、選択したサービスや医療品について、保険料、年間控除額、共同保険または、自己負担金を支払う。政府は、18歳までの子供の保険を支払う。
- 任意保険の加入率は84%で、任意保険の保険料は規制されていない。
- 法定健康保険制度は、費用負担の主な形態は強制控除であり、2019年は385ユーロ。必須の控除額に加えて500ユーロである。控除の対象になるのは、入院、専門サービス、処方箋などのサービス。GPケア、予防サービス、子供のヘルスケアは無料。
- 一部の選択されたサービスでは、控除額が満たされた後でも、自己負担額、共同負担、または直接支払いが必要になる。
- 政府は、低所得者の保険料を賄うために、資力調査済みの補助金を提供。独身者の場合、最大99ユーロ。低所得世帯は192ユーロまで支給。

医療保険制度のまとめ

- 医療保障制度の概要
 - 人口の約63%が公的健康保険に加入。2006年の健康保険法により皆保険を実現し、民間保険と強制保険により支えられている。
- 公的医療保険と民間医療保険
 - 公的医療保険の財源は、税68%（うち給与税46%、一般課税22%）、社会保険料21%、患者負担11%。18歳未満の子供のために資金の5%を政府補助金として提供している。
 - 国民の84%が公的医療保険をカバーするなんらかの民間医療保険に加入しているが、ケアのアクセスの悪さが原因で病院や専門家の選択肢も増えていない。
- 公的医療保険の給付
 - 給付内容は国が設定し保険会社が基礎的保険を提供する。法定健康保険の対象外である予防と社会的支援は、税金によりカバーされ、長期ケア保険と保険と別に資金提供される。
- 医療費の患者負担
 - 政府は18歳までの子供の保険料を支払うが、成人は選択したサービスや医療品について保険料や年間控除額、自己負担金を支払わなければならない。また、低所得者の保険料を賄うための補助金を提供している。